

国道302号を跨ぐ重量160トンの鉄道橋を架設

11月19日(木)未明に、名古屋市守山区で、国道302号を跨ぐ名古屋鉄道瀬戸線の橋梁の架設が行われ、国道の踏切解消にむけて一步前進しました。

架設された橋梁の重量は160トンで、ブーム(腕)の長さが60m以上もある巨大なクレーンによる、大迫力の工事でした。

深夜にもかかわらず、地域住民の皆様も固唾を飲んで見守っていました。



橋げたを吊り上げて慎重に旋回

国道の上に架設完了!